2023年度県立博物館利用案内

学校の先生方へ

東照宮縁起絵巻 巻二（関ヶ原の戦い）
和歌山県指定文化財　紀州東照宮蔵

和歌山県立博物館
https://hakubutu.wakayama.jp
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-436-6643
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
— 和歌山城・南側 —

和歌山県立博物館について

和歌山市内を東西に結ぶ三年坂通りをはさんで、和歌山城のすぐ南にある和歌山県立博物館は、きのくに－和歌山県の歴史と、それを物語る文化財を保存・公開する歴史博物館です。

この博物館では、和歌山県の歴史を実物資料で物語る常設展を見学することにより、郷土の歴史の大筋を学習することができます。また、特別展や企画展では、全国からも注目されるような重要な文化財が展示されることがありますので、鑑賞のための教材としてご活用いただくことができます。さらに、博物館が収蔵する和歌山県ゆかりの文化財を素材として、さまざまな学習活動を展開できる可能性を有しています。

ご利用にあたっては、それぞれのねらいに合った活動が展開できるように、事前に博物館の学校教育担当者（学芸課）と打合せをしていただくことをおすすめします。ご利用の目的・人数・時間など、さまざまなご希望があると思いますが、できるだけご要望にそえるよう、準備・対応させていただきますので、どうぞお気軽にご連絡・ご相談ください。

2023 年度の特別展・企画展

常設展

きのくにの歩み －人びとの生活と文化－
令和５年4月1日㈯～10月1日㈰/12月5日㈫～令和６年3月31日㈰
常設展示室内

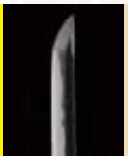
企画展

川とともに生きる －川と人の関係史－
令和５年3月11日㈯～4月23日㈰
熊中奇観　下（館蔵）

特別展

きのくにの小浪華 －湯浅ゆかりの文人の書画－
令和５年4月29日㈯～6月18日㈰
普賢菩薩像　馬上清江筆（個人蔵）

夏休み子ども向け企画展



きのくにのかたな －和歌山県立博物館の赤羽刀－
令和５年7月1日㈯～8月27日㈰
脇指　安定作（館蔵）

企画展

法燈国師
令和５年9月2日㈯～10月1日㈰
和歌山県指定文化財　法燈国師像（円満寺蔵）

生誕850年記念特別展

紀州・明恵上人伝
令和５年10月14日㈯～11月26日㈰
重要文化財　仏涅槃図（浄教寺蔵）

企画展

高野山寺領の村
令和５年12月16日㈯～令和６年2月12日㈪㈷
弘法大師御手印縁起写（館蔵）

企画展

新収蔵品展
令和６年2月23日㈮㈷～4月14日㈰
奈良絵本　西行（館蔵）

ご利用メニュー

※ここでは、学校による県立博物館ご利用の方法について、これまでの利用の事例を参考にして、いくつかご提案したいと思います。

1 遠足・社会見学 ―展示を見学しようー

春や秋の遠足・社会見学の行事として来館し、きのくに―和歌山県の歴史をコンパクトに紹介する常設展を中心に、展示を見学します。周辺の和歌山城や近代美術館などの見学と組み合わせると、より効率的です。

情報
- 学芸員の解説付きで見学できます(要予約)。
- 同じ時間帯で、近代美術館とローテーションを組んで見学することができます。
- 和歌山城に関する資料もご用意できます。
- 昼食は、博物館の前にある奥山公園の芝生の上でどうぞ(ゴミはお持ち帰りください)。雨天時には、屋外展示室も利用できます。

［クラス単位・学年向き／30分～1時間程度］

2 校外学習 ―博物館でじっくり学ぼうー

学習の指導計画に合わせて、半日くらいまでの日程でご利用いただけます。より詳しく展示の内容を学習します。

情報
- 社会科・生活科の教科学習として、和歌山県の歴史を常設展の展示資料などで確認できます。郷土学習 小学校4年・歴史 小学校6年・地理歴史 中学校 などで、身近な地域の特徴、歴史的なことがらを学習できます。
- 美術・図画工作の学習として、特別展・企画展などで展示されている、和歌山県内の文化財・作品を鑑賞することができます。
- 総合的学習で、「ふるさとの歴史」「博物館の仕事」などの調べ学習に利用できます。個別の質問などにも、アドバイザーとして学芸員がお答えします（要予約）。
- 夏休みの宿題として、常設展などのワークシートを提供することができます。
- クラブ活動での見学もお待ちしております。

［グループ・クラス単位向き／1時間～3時間程度］

3 職場体験学習・インターンシップ

中学校・高等学校の生徒が、地域とのつながりを深め、社会的な視野を広げて、働くことの大切さを感じるとともに、自らの進路を考える場のひとつとして、博物館をご利用いただけます。学芸員や受付などの仕事を体験していただきます（要予約）。

［2名程度／2～3日間］

4 「出前授業」 ―県内どこでも参ります―

博物館にご来館できない学校へは、学芸員がおうかがいすることができます。多くの「たからもの」（文化財）が残されている各地域のお話しを聞いてみませんか。

情報
- 火縄銃や古文書、「さわれるレプリカ」など、館蔵品や実物のかたちにふれることができます。
- 学校のある地域の歴史を、お話しできます。
- 地域の災害の記憶や、文化財の防犯についてのお話しができます。
- 教科書と、きのくに―和歌山県の歴史とを、関連付けることができます。

［クラス単位／1時間程度］

「出前授業」のお問い合わせ・申し込み

- 授業の内容などについては、県立博物館にご遠慮なくご相談下さい。
- 出前授業のお申込みは、学校長から県立博物館長あてにエキスパート職員派遣要請書をご提出いただく必要があります。和歌山県教育委員会のホームページ（教職員向け情報▶エキスパート職員派遣事業）に、内容や申し込み方法、要請書書式がありますので、ご確認下さい。なお、派遣後、教育委員会総務課に報告書を提出する必要がありますので、ご留意下さい。

さわれるレプリカ

エントランスホールと常設展示室には、文化財のかたちを手に取って体験できるレプリカを置いています。どうぞ、自由にさわってみてください。

（協力：県立和歌山工業高等学校・県立和歌山盲学校）

そのほか

1 教員向け研修

先生方を対象にして、夏休み期間を中心に、博物館の仕事や文化財をテーマとした研修を随時行います。ご要望に合わせて、テーマや内容を設定します。

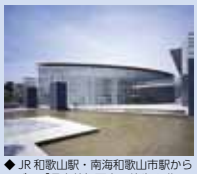
なお、県立博物館では中堅教諭等資質向上研修（和歌山県教育センター学びの丘の「選択研修」に指定）を年2回実施しています（定員各10名、7月・12月に実施予定）。

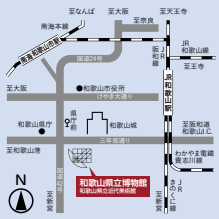
2 学習成果の展示・発表

児童・生徒の学習の成果を、博物館エントランスホール（1階）やギャラリー・学習室（2階）を使って展示することもできます。学校の文化祭などで展示した作品を博物館でも展示して、より多くの方に見てもらいませんか。展示品・展示方法などご相談に応じますので、ご遠慮なくご連絡ください。

ご利用にあたって

- ◆いずれのご利用についても、高校生以下は無料です（引率者の方も無料）。
- ◆博物館の開館時間は、9：30～17：00です。
- ◆休館日は、月曜日（祝休日の場合はその翌平日）・年末年始・特別展展示替期間です。
- ◆県立博物館は、和歌山城の南側（三年坂通りをはさんで）に、県立近代美術館とならんで建っています。ＪＲ和歌山駅・南海和歌山市駅からは、いずれも「県庁前」バス停を通るバス路線をご利用下さい。バス停からは歩いて2～5分程度で、博物館に到着します。
- ◆屋内の一般車用駐車場（有料）のほか、屋外にバス専用の駐車スペース（無料）もあります。
- ◆2階の学習室は、40人程度の教室として利用することができます（電子黒板を使うことができます）。





◆JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ＩＣから車で約20分
◆和歌山港から車で約7分

お問い合わせ

和歌山県立博物館 学芸課
（学校教育担当）
〒640-8137　和歌山市吹上1-4-14
TEL.073-436-8684（学芸課直通）
FAX.073-423-2467（学芸課直通）
E-Mail: admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp